

高津第三地区

八景島シーパラダイスでイルカショーやアトラクションに大歓声



高津第三地区社協の障がい児者部会では、9月23日(火)に「1日レクレーション」として横浜・八景島シーパラダイス(横浜市金沢区)に出かけました。このイベントは、障がい児者が屋外で楽しく遊ぶ機会をつくることと、普段一緒に生活している家族等の情報交換の場にするを目的としています。



参加者の皆さんは水族館でイルカショーを楽しんだり、クライミングに挑戦したり、アトラクションに歓声をあげ、元気に活動していました。マスコットキャラクターの像と一緒に記念写真も撮影しました。

当日は天候にも恵まれ過ごしやすい気温でしたが、帰りのバスの中では皆さん遊びつくして疲れた様子でした。

橘地区

身近な心地の良い場所

子育てサークル

「りぼん」を立ち上げました!



令和7年2月より、末長にある宗田住宅集会所を借りて民生委員児童委員を通じて知り合った3人で子育てサークル「りぼん」を立ち上げました。きっかけは、他の子育てサークルに参加する中で、私たちが住んでいる近くには子育て中のママが気軽に来られる居場所がない! ?と思ったことからです。毎月第一水曜日は0歳児、第三水曜日は1~2歳児を対象に、月2回開催しています。

「りぼん」は、イベントや保健師さんからのお話があるわけではなく、ただただママ、パパ、赤ちゃんがのんびりと過ごせる場所になればと思って始めました。みんなが、おばちゃんたちとのたわいもない会話ですっきりとした顔で帰られるのを見ると私たちも幸せな気持ちになります。

昭和生まれのわたしたちはSNSを活用した今どきのPRはなかなかできませんが、他のサークルで勧誘したり、区役所の方にもご協力いただいたりと、とにかくアナログでPR活動を行い、最近はずいぶん参加者も増えてきました。

これからも「身近な心地の良い場所」を目指して頑張っていきます。



編集委員 横沢 かつ子 矢島 清美 小柴 博 小林 美和子 栗田 栄治 (順不同)

この広報紙は共同募金の分配金で作成されています。

高津区の福祉

おあしす

希望の泉

今号のトピックス

- ・クリスマスケーキをお届け 2
- ・高津地区で施設と交流会 2
- ・わかたけおまつり開催 3
- ・大盛況!中央支援まつり 3
- ・シーパラダイスで1日レク 4
- ・子育てサークル「りぼん」 4

第62号



令和8年3月1日

(社協の会章)

発行 川崎市高津区社会福祉協議会

川崎市高津区溝口1-6-10 てくのかわさき3階 福祉パルたかつ内

連絡先 TEL 044-812-5500 FAX 044-812-3549

https://takatsuku-shakyo.jp/

E-MAIL: takatsuku@cs-w-kawasaki.or.jp

発行人 富田 誠 (高津区社会福祉協議会会長)

編集人 おあしす編集委員会



高津第二地区社会福祉協議会

「明るく、明るく、前進！前進！」

高津第二地区社会福祉協議会は、「下作延、上作延、坂戸、久本、梶ヶ谷、向ヶ丘」の6地域から構成されており、「企画部」「厚生福祉部」「青少年福祉部」の3つの部会を中心に様々な活動をしています。

「企画部」では、「広報誌“ふれあい”」の発行、平成24年に始まった来場者の皆さまと一緒に歌う「ふれあい歌声喫茶」の開催、高津第二地区社会福祉協議会の会員を対象に、新たな知見の取得や福祉に関する知識の取得を目的とした「県外研修事業」を実施しています。

「厚生福祉部」では、老人いこいの家で地域の一人暮らし高齢者の居場所作りを目的として、アトラクションや会食をする「ふれあい会食会」や上作延老人いこいの家で「ミニデイサービス」の開催、「老人クラブとの交流」を実施するほか、「研修会」等で地域の方や高津第二地区社会福祉協議会会員の啓発活動にも力を入れています。

「青少年福祉部」では、「夏休み親と子のお楽しみ会」、「親子いもほり体験」といった家族で参加できるイベントの開催や、障害のある方を対象とした「クリスマス会」を開催し、子どもや障害のある方が楽しめる活動を実施しています。

また、高津第二地区社会福祉協議会は高津区社会福祉協議会と共に「健康寿命日本一の区に」、「認知症の人にやさしい町づくり」の二大方針を掲げて事業を進めています。「健康寿命」については、公園体操・健康体操等を実施し、七区の中でも一番活発な区と評価されています。また「認知症」に関しては、サポーター講座・講演会などを数多く開催し、理解を深めてもらう場を提供しています。

これからも二大方針をさらに進め、地域において「人と人とのつながりを広げ顔の見える関係づくり」を展開し、スローガンでもある「明るく、明るく、前進！前進！」を意識し、高津区に関わるすべての人や地域をもっと明るい地域にするために事業を推進していきます。

地区社協紹介



富田 誠 会長

区社協事業の報告



地域の方からの寄付を財源に クリスマスケーキをプレゼント



12月23日（火）と24日（水）に、対象となるご家庭約100世帯へクリスマスケーキをプレゼントする事業を行いました。この事業は令和3年度から行っているもので、地域の個人や団体から、子どもに関わる事業に活用して欲しいといただいた寄付金も財源になっています。

今年度は、マルイファミリー1階のプチ・フルールと、梶ヶ谷駅前のラ・パティスリーセリの2つのケーキ店に、各店ご自慢のケーキ



富田会長

白井区長



区役所の白井区長や本会の富田会長が、地区社協関係者、民生委員・児童委員、ボランティアの方々とともにご自宅までケーキと手作りバルーンアートをお届けしました。区内の子どもたちに向けた事業の拡充のため、今後とも皆様からのご寄付をどうぞよろしくお願いいたします。

「高津第一地区・第二地区・第三地区社協と福祉施設との交流会」を開催しました！

令和8年1月30日（金）てくのかわさきホールにて、「高津第一地区・第二地区・第三地区社協と福祉施設との交流会※」を開催しました。当日は、各地区社協関係者30名と、区内の特別養護老人ホームなどの高齢者施設、作業所・就労支援事業所などの障害者施設、保育園、地域包括支援センター・障害者相談支援センターなどの相談機関、さらに、高津区役所からは地域みまもり支援センター所長をはじめ地域支援課長、地域ケア推進課長、保健師さんなど46名、計76名の参加があり、『障害』をテーマに理解を深め、情報交換・交流を行いました。

グループワークでは、障害のある方の理解についてや、施設と地域の交流について等活発な意見交換が行われました。「障がいのある方に対して理解が深まった」「福祉施設の事がよく分かった」という感想や、「地域にこんな場所があったらいいな」といった新たな展望も生まれてきました。



多くの方にご参加いただいた本取組は、高津区内の地域の繋がりづくりにおいて、大変貴重な機会となり、今後も継続して行っていく予定です。

※正式名称は「福祉でつながる地元交流会及び地域生活支援SOSかわさき事業高津区連携ネットワーク会議」



高津第一地区

～地区内の施設 わかたけ作業所を紹介～ 「わかたけおまつり」開催

11月1日（土）に「わかたけおまつり」を開催しました。当日は天候にも恵まれ、地域の方々や町内会の方達を始め、多数の方にご来園頂きました。日々行っている作業活動（クリーニング・スイッチ・チョーク等）の見学・体験を通して、普段のわかたけ作業所の様子を知って頂く良い機会となりました。

また、日頃からお世話になっている久地第2町内会の皆様には[焼きそば・フランクフルト・ジュース]の屋台で参加して頂き、祭りを大いに盛り上げて頂きました。

わかたけ作業所は今年で開所45年目を迎えます。今回のお祭りを通して、改めて【地域の中で、地域と共に】を実感する事が出来た1日となりました。【地域の一員】を旨に過ごしてまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。



高津第二地区

～たくさんの方々にご来校いただきました！～ 「中央支援まつり」

久本にある川崎市立中央支援学校では、11月15日（土）に中央支援まつりを開催しました。

当日は、高等部職業班が授業で作成した製品や外部の福祉施設による小物製品、焼き菓子などの販売をはじめ、高等部分教室によるカフェ、川崎市のパラメータメント事業としてインクルーシブなeスポーツ体験コーナー、高津高校軽音楽部の催し物や演奏、PTAによるリサイクル品コーナー、本校生徒の作品製品展示等と盛りだくさんの内容でした。



入場開始時には受付待ちの行列ができるなど多くの方々にご来校いただき、販売ブースでは製品によっては販売早々売り切れの物もありました。

地域の皆様には、本校の教育活動をご覧いただける貴重な機会となったかと思えます。例年11月中旬から下旬に開催いたしますので、ホームページ等でご確認の上、ご来校いただければと思います。